

Handsome

March 2015 No.315

侍魂
ひとつ

SAMURAI DAMASHII



◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 後藤太良
◆編集責任者/担当 副会長 白石博昭 ◆制作・編集 第40期広報委員会/委員長 福山輝展

次年度会長・県会長候補決定

松田幸紀 次年度会長のプロフィール

- 【入会年度】 平成16年12月入会
- 【中央会経歴】 平成19年度 地域ビジョン委員会 副委員長
- 平成20年度 総務委員会 委員長
- 平成21年度 県出向理事
- 平成24年度 副会長
- 平成25年度 副会長 兼 40周年記念事業委員会 委員長
(40周年記念事業 実行委員長)
- 平成26年度 監事



この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第41期会長にご承認頂きました松田幸紀です。どうぞ宜しくお願い致します。後藤会長より「来期の会長は松田君にお願いしたい！自分自身が君の会長姿が見てみたい！」と、言われた時は、頭の中が真っ白になり、10年間の中央会生活の中で、初めて即答が出来ず、約1カ月、悩みに悩み決断をさせて頂き、不安ばかりが頭をよぎる日々が続いておりました。

ですが、先日の2月17日の臨時総会にて、会員の皆様より大きな声で「異議なし！」を頂戴し、その不安を気合いへと変える事が出来ました！！

来期第41期は、青年中央会が40周年を終え、50年・60年へと歩んで行く為の大切な1年になると考えます。会員全員が一丸となり、たくさん学び・笑い、議論し、有意義な1年間の活動にして行きたいと思っております。その為には、OB会員の皆様を始め、関係者各位の皆様方のご協力無くしては何も出来ません。

皆様におかれましては更なるご指導・ご協力をお願い申し上げます。

今期も残り4カ月。会員全員で最後まで後藤年度を盛り上げ、元気な中央会で参りますので、引き続きのご声援をお願いし、ご挨拶と代えさせて頂きます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

牧田継夫 次年度県会長候補のプロフィール

- 【入会年度】 平成15年5月入会
- 【中央会経歴】 平成17年度 県出向理事
- 平成18年度 政治行政委員会 委員長
- 平成21年度 地域ビジョン委員会 副委員長
- 平成23年度 県出向理事
- 平成24年度 副会長
- 平成25年度 副会長
- 平成26年度 県出向監事



2月例会の臨時総会にて、会員の皆様より鳥取県中小企業青年中央会 次年度会長候補に承認いただきました牧田継夫と申します。指名承認ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

この度は大役を仰せつかり身が引き締まる思いです。初心・原点に帰る気持ちで自らを振り返ると、入会当初より諸先輩方の大きな懐と背中を必死で追いかけて、色々教えていただいたことを思い出します。「さまざまな行事に常に問題意識を持ちながら、積極的に参加して欲しい」、「中央会に対する思い入れと、中央会会員としての誇りを持って欲しい」、「これからの歩みを考え、しっかり勉強し、未来の中央会を支えて欲しい」、「人間対人間の付き合いができる場所、自分の居場所を見つけて欲しい」、などなど。

私は西部青年中央会に入会し、西部青年中央会の諸先輩方にご指導いただき、同輩や後輩とも親交を深め、支えられて参りました。西部青年中央会に深く感謝し、その会員であることに誇りを持っています。広く考えれば、東部・中部の会員の皆様もそれぞれに同じ思いでいらっしやるのではないのでしょうか。日々の活動の中心は各地区であり、そこで一生懸命に活動されている会員が県に集まってくる。それぞれのプライドがそこで切磋琢磨され、さらなる成長と親交を図る。県青年中央会をそんな場所にしていきたいと考えております。

若輩者ではございますが、自分は自分らしく、しかし全力で県の行事や課題に取り組んで参る決意です。皆様ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



2月例会開催

平成27年2月17日(火)、米子全日空ホテルにおいて、政治行政委員会担当の2月例会が開催された。



冒頭の後藤会長の挨拶では、プロ野球のチャンピオンとファンである広島東洋カープ、最近行われたOB会員との交流についての話の後、同日予

定されている臨時総会において次年度会長・次年度県会長候補については十分に審議し選出して欲しいと述べられた。続いて新入会員バッジ授与式が行われ、上村会員、柳田会員が新たに加わった。



委員長タイムでは、地域ビジョン委員会の廣谷委員長より、土(さむらい)業についての紹介があり、特に司法書士業務ならではの内容として、実際にある日本を代表する企業の登記簿についての説明があった。

例会は、第1部として現役会員講師による補助金ミニセミナー『知らなきゃ損！こんな使える補助金あるって知ってますか？』と題して、オリジナルの脚本のもと、会員自らが出演するDVD上映から始まった。ある企業が取引先からの突然の条件変更により資金繰りの必要が生じ、金融



機関と交渉する過程で「専門家からアドバイスを受ける重要性」を指摘されるというストーリーであった。具体的には、鳥取県商工労働部による『人づくりによる経済成長戦略推進事業』の導入を検討する内容で、対象分野、対象企業、対象事業及び事業規模等が説明された。また、宿泊業、老人福祉・介護業での導入事例では、売上10%増、賃金5%増或いは離職率半減といった目標に対して、どのように補助金が導入されるのか、またコンサルタント等からの指導がどのように行われるかといった説明がなされた。

第2部では、現役会員による事例報告・意見交換『ここだけの話、うちの会社はこうやって補助金を使っています』と題して、各委員会からの代表者6名によるディスカッションが行われた。実際に受給した経験のある会員に対して、申請から受給に至



るまでのプロセスを他の会員から質問しつつ理解を深めていく形式で進められた。従前の補助金に加え『鳥取県版経営革新計画』の説明もなされた。

意見交換の中で「申請から受給までの期間が長い」、「必ず受給できるとは限らず、その為、計画に盛り込むことが出来ない」などの理由から緊急性の高い場合には得策とは言えないという慎重な意見、「自社の事業計画達成手段の一つとして重要である」、「申請する際には、自社の経営を見直す良い機会である」という推進する意見が出され、最終的に「企業の進むべき方向の中に補助金を組み込むことが出来るならば積極的に利用するのが良いのではないか」という意見の一致に至った。

補助金導入を検討しつつ、自社の価値を高める重要性について、改めて認識出来る良い機会となった。(記事：稲田)

2月例会を終えて

政治行政委員会 委員長 三輪 龍介



2月例会の準備を始めたとき、こんなに盛りだくさんの内容にして本当に出来るのだろうか？という気持ちが少しあったのですが、ドラマのシナリオ作成・撮影、事前アンケート、2部の出演者への依頼など、それぞれの部分ごとには順調に進めることができていました。

ところが部分ごとの作業に気をとられ過ぎて、それぞれ形が目に見えるようになるにつれ、当初の心配とは別の、例会全体で何を言いたいのか？がよく分からないのでは、という気持ちが芽生えてきていました。委員会でリハーサルをした際、スライド等が間に合っていないということもあったのですが、案の定全体がぼやけてしまっている感じがして、そこから尻に火がつき、当日ギリギリまで副委員長をはじめ何人かのメンバーで修正、打ち合わせを重ねました。

そして補助金を取っ掛かりにして会員同士の考え方や意見を引き出し、各所属企業が勝ち残っていくためのヒントにしてもらえる例会にしたいということが定まり、各部分を微調整することで例会

全体を形にすることが出来たと思います。

今回の内容は、委員会メンバー全員の力を借りないと到底実現できないものでしたが、見事に仕上げることができ、このメンバーで本当に良かったと思いますし感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

濱田義人OBと渡部秀夫OBの受章を祝う会

平成27年1月26日(月)米子全日空ホテルに於いて、平成26年秋の叙勲褒章受章者で当会OBの濱田義人氏と渡部秀夫氏が受章の栄に浴された事を請け、54名のOB会員・現役会員がお二人を囲む「受章を祝う会」が開催された。



世話人代表である土井一朗OB会長より開会の挨拶があり、続く祝辞では足立統一郎OBと松本哲哉OBのお二人がご登壇された。足立氏は詩人高村光太郎の一遍を引用され、「今まで歩んだ道に、正しく足跡が付いていたからこそこの受章である。」とお二方の業績を称え、松本氏は「渡部さんの容姿はスマートだが、長年草花と付き合ってきたその手はゴツゴツしている。彼の歴史そのものだ。」と祝辞を結ばれた。

記念品贈呈では後藤40期会長と渡辺直前会長が、お二人へお祝いの言葉を添えて記念品を手渡された。

世話人代表である土井一朗OB会長より開会の挨拶があり、続く祝辞では足立統一郎OBと松本哲哉OBのお二人がご登壇された。足立氏は詩人高村光太郎の一遍を引用され、「今まで歩んだ道に、正しく足跡が付いていたからこそこの受章である。」とお二方の業績を称え、松本氏は「渡部さんの容姿はスマートだが、長年草花と付き合ってきたその手はゴツゴツしている。彼の歴史そのものだ。」と祝辞を結ばれた。

これまでの祝福を受け、濱田氏は「陛下より直々にお言葉を賜ったが、短い中に色々な意味が込められていると感じた。今後も地域の為に恩返しをしていきたい。」、渡部氏は「中央会に入ったお蔭で、少しでも世の役に立ちたいと思う事ができた。」と、お二人から謝辞を述べられた。

そして乾杯のご発声を松田一三OBにご登壇頂き、「両君と同じ釜の飯を食べた者として心から喜びたい。」と盃が掲げられた。

最後の中締めとして、福田一哉OBより「先輩方の生き様を手本に、今年度のスローガンである『侍魂』を発揮出来るように頑張っていきたい。」とご発声を頂き、祝宴は和やかに幕を閉じた。

(記事:長谷川)



平成26年度 鳥取県中小企業青年中央会経営研修会開催

平成27年2月20日(金)、倉吉未来中心に於いて鳥取県中小企業青年中央会平成26年度経営研修会が開催された。

冒頭、和田県会長より「いよいよ本年度も後半。会社を良くするため、経営者は会社にとって良い習慣や従業員育成の手法を学びたいと思っているが、なかなかそういう機会は少ない。この研修会で学んだ事を自社に持ち帰って役立てて欲しい。」と述べられた。

続いて、三嶋県出向から講師の武沢先生の紹介が行われた。先生は製造業や小売業の勤務を経た



後、大手企業など数多くの講師、コンサルティングを手がけておられると紹介された。

そして研修会の第一部が始まった。経営に大事なポイントである「理念」「方針」「計画」やPDCAサイクルの重要、生き立ち・過去の経験談、良い会社の習慣、人材・組織・仕組み作りについて紹介・説明がなされた。

1時間半ほどのご講演でしたが、中身が濃く、物足りなさを感じるほどでした。締めくくりとして先生から「本研修会で学んだ事を参考にして会社の課題を少しずつでも解決して、会社・地域・日本を



元気にしていって欲しい」と述べられた。

二部では10チームに分かれ、グループディスカッションが行われ、取り組みたいこと、取り組んでいる事を発表し合い、その後、グループ毎に内容発表を行なった。

最後に後藤太良県副会長から「会社の問題点、改善点を考えさせられた。学ばせてもらった内容を持ち帰ってより良い会社にしていきたい。」と謝辞が述べられ研修会が終了した。

(記事:足立匡)



独者、〇〇が好いてござる!

「写真」

侍委員会 田中 猛

根っからの旅好きで、旅先での風景をもっと綺麗に撮りたくて、10年程前から本格的に写真を習い始め、コンテストに出したり、作品展を開いたりしています。

最近ではカメラ女子などと人気が出てきているようですが、まだまだオタクっぽくオヤジの趣味だと思われがちです。

しかし被写体を求め外に出かけ、結構カラダを動かしますし、カメラやレンズの機構や、光や構図などの深い知識が必要なことも、大人の探求心や遊び心をくすぐります。なにより仕事とは違い、制約も決まり事も無く、好きなように自己表現ができることが最高の魅力です。

旅先には二コンD300という一眼レフカメラに、一本だけ18-200mmのズームレンズを着けていきます。レンズ交換のせいで一瞬のシャッターチャンスを逃したくないからです。旅の最中は、被写体を見つかる度に立止まる私に苛立つ嫁を横目に、時間を忘れてシャッターを切りまくります。その時の一瞬を切取った写真を編集し、素晴らしい作品に仕上がった時は至福の時、また写真を撮りに旅に出かけたくります。

ただし良い被写体は案外身近なところにあたりもします。

ぜひ一度カメラを持って出かけてみて下さい。歩く速度も変わり、きつと見慣れた風景や情景が違ったものに見えてくるのではないのでしょうか。



黎明の月光(弓ヶ浜公園)

卒会にあたって

有和豊光会員(平成16年12月入会)

平成16年12月に鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させて頂き、卒会年度を迎え残すところ、後、数ヶ月になりました。

第30期に入会させて頂き、11委員会に所属させて頂き、第40期に卒会させて頂きます。鳥取県西部中小企業青年中央会の偉大なる歴史に於いて、30期の節目に入会、そして40期の節目に卒会、これも大変幸せな御縁に感謝の気持ちでいます。

中央会活動を通して、多くの諸先輩方の出会い、多くの現役会員の皆様と出会い、これが何よりも「私の財産です。」

沢山の皆様方に支えて頂いた、鳥取県西部中小企業青年中央会の活動でした。

『感謝』『感謝』『感謝』の言葉しかできません。本当にありがとうございました。

卒会後も、引き続き、宜しくお願い致します。





実は…こんな仕事です

ジェムズ・ブレイン
 蓼本満梨子 会員
 (総務委員会)



こんにちは。かつて初めて入会した時は、27歳のピカピカ20代で、「安全地帯の奥さんに似てる」とか「杉田かおるに似てる!!」と可愛がられたものですが、あれから早10年。若い方もどんどん入会され、体重も1年に1kgずつ増え、「よっ! 演歌歌手」とか、「パービーみたい」、「おばさん!!」という罵声しか最近では浴びなくなった、総務委員会の蓼本です。

あのおばさんは確か、ガイナーレでスタジアムを作ってたはずだけど、今は何をしているんだろう? ということで、今回の記事依頼になったのだと思います。

昨年の6月に4年間関わらせていただいた、ガイナーレ鳥取から退職させていただき、新規一転独立営業させていただくことになりました。現在ではクリエイティブ・エージェントとして、従来の広告の枠組みにとらわれず、戦略・制作・SP・PRと一環した販促のお手伝いをしております。「新商品を作るけど、パッケージはどうしよう? コンセプトは?」とか、「会社が30周年になるけど、何をしよう?」などお悩みの方はぜひ、ご相談ください。

これを機に、初心にたちかえり一生懸命努力してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

上村 卓弘 O型
 (侍委員会)
 ダイニチ技研 常務取締役
 建設コンサルタント業
 〒689-3205 西伯郡大山町西坪482
 TEL 54-2111 FAX 54-3040
 (KT) 080-2909-3348
 (EM) th-uemura@dainichi-g.com
 S 49.02生

〈コメント〉はじめまして! ダイニチ技研の上村です。昨年4月に大阪から帰省し、建設コンサルを経営しています。1男2女の父で、脂肪を蓄えた(汗)ランナーでもあります。今後、中央会での活動に精一杯汗をかこうと思っています。

柳田 貴彦 B型
 (侍委員会)
 柳田建設 総務課長
 建設業・運送業
 〒683-0825 米子市河崎2535-2
 TEL 29-2055 FAX 29-2003
 (KT) 080-2923-0263
 (EM) yabagitakensetu00@car.ocn.ne.jp
 S 58.04生

〈コメント〉この度、青年中央会に入会させて頂くことになりました有限会社柳田建設の柳田と申します。様々な業種の代表者様、幹部の方々が多数集まる当会に入会できたことを非常に光栄に思っております。中央会の活動に積極的に参加し、中央会の更なる発展の為、皆様方の力になれるように一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

3月役員会報告

3月役員会が平成27年3月2日(月)米子コンベンションセンターにて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会開催報告の件
- ・3月例会の件
- ・4月レクリエーション例会の件

※なお、詳細につきましては各委員長までご確認ください。

3月例会のご案内

と き:平成27年3月16日(月) 19:00~21:00

ところ:ホテルサンルート米子

内容:第一部

講演:「米子城再建による城下町米子の復興」
 ~米子に歴史と活力を取り戻し、
 こどもたちに夢を~

講師:米子工業高等専門学校 建築学科
 助教 金澤雄記氏

第二部

ディスカッション:「米子城再建に向けて」
 ~現状と課題~

担 当:第40期 地域ビジョン委員会

編集後記

最近ちょっとしたことがなかなか思い出せないことがある。

また、寒い時期になると首や腰などが非常に痛くなることがある。トホホ…である。

『青年』という名の付く会に所属している現役会員としては情けない話だ。

『元気な青年?』目指して脳ミソと体を鍛えるぞっ!と
 思う、今日この頃だ。
 (広報委員会 辻 拓哉)

〈新入会員〉



お誕生おめでとう

みはる
高塚美陽ちゃん
 (高塚康治 会員の第5子)
 20●●年●月●日生まれ

少子化人口減少問題が取り沙汰されるなか、その問題を解く鍵は高塚家にありました。賑やかなわが家に新しい天使の誕生です。兄姉に囲まれ大きく育っています。野球チーム結成まであと4人(笑)、がんばるぞ!